

警固の庭では

へまいる来てよ神の社に榊を植えて 太鼓はやめて遊べわがつれ遊べわがつれ

へまいる来てよこれのお獅子を見申せば 天神七代地神五代舞いはいで候 舞いはいでても舞い遊ぶ舞い遊ぶ

なお、佐久間義隣氏の明治六年七月の記録によると、歌の内容は次のとおりである。

諏訪神社での唄(四月七日、七月二十七日)

へまいる来てよ是のおはしを見申せば 黄金ももよせ白銀の橋白銀の橋

へまいる来てよ是のお庭を見申せば 四方四面の枡形の庭枡形の庭

社協の警固の庭の唄

へこの獅子は天神七代地神五代 舞は出候舞は出ても舞遊ぶ舞遊ぶ

へ神の社に榊を植えて 太鼓はやめて遊べわが連れ遊べわが連れ

村役宅での唄

へまいる来てよ是の館を見申せば、黄金切まど錢すだれ錢すだれ

へまいる来てよ是の旦那を見申せば 諸事にかしこきおん人なれば諸国世上の村を扱ふ 村を扱ふ

佐久間与五左エ門宅での唄(七月二十七日)

へまいる来てよ是の御坪を見申せば、牡丹芍薬けいとうげの花けいとうげの花

へまいる来てよ是のやかたを見申せば 白きねずみが金運ぶ金運ぶ